

## 生活文化デザイン学の専門性を活かすためのキャリア教育 -課題Ⅱ 建築・インテリア分野の専門性を活かすためのキャリア体験-

### 背景・目的

課題テーマ「生活文化デザイン学の専門性を活かすためのキャリア教育」の一環として、課題Ⅱ「建築・インテリア分野の専門性を活かすためのキャリア体験」を実施した。活動の中心となっているのは引き続き「建築学生有志団体アマリス」のメンバーである。前期活動が3年生、後期活動が2年生主体で進めてきた。

### 実施内容

恒例活動である「イラストレーション講習会」のほか、新たに下記のプロジェクトを実施した。

#### 1. サマーカレッジのインテリアデザイン

2015年度サマーカレッジの一環として8月3日に開催した「伊東豊雄建築ワークショップ@宮城学院女子大学」の事前準備や森のレストランのインテリアデザインとしつらえを行った。

建築家伊東豊雄先生を招き、子供たちと一緒に森で拾った葉っぱや木の実で小さなお家を飾るワークショップであった。本学科の学生たちは事前準備の小屋づくり、当日のアシスタント、森のレストランのしつらえを担当した。授業で学んだ建築やインテリアの専門知識を実践する場となった。



#### 2. クリスマスマーケットの会場デザイン

2回目の開催を迎えたクリスマスマーケットin 宮城学院のサインと会場デザインを担当した。

地域の方々が多く来場するため、実験室や研究室など立ち入りができない場所ははっきり示さなければならぬが、クリスマスマーケットの

楽しい雰囲気も大切である。ユーモアのある表現が求められるやや難しい課題を見事にクリアした。サマーカレッジで作った小屋も新たにライトアップされて、楽しいオブジェとして生まれ変わった。来場者の動線も考えつつ、賑わいに富んだ温かみのある会場に仕上げた。



#### 3. リノベーション女子ワークショップ

空き家の利活用や自宅の環境改善など、女性の感性を生かしたリノベーションが社会的に求められるようになってきている。積極的にリノベーション活動を行う女性を指すことば「リノベーション女子」があるほどである。このワークショップではタイルの使い方、塗装技術を学ぶことを目的として、小さなウォールボックスを製作した。様々なリノベーション活動を実施し、著書をご執筆されているいしまるあきこ先生、塗装メーカーの方を講師として招いて、楽しく作品を作ると同時に初歩的な技術も学んだ。



### 結果及び考察

これらの体験を通して、授業で学んだ理論や知識、スキルを実践することでさらにデザイン力の向上を図った。また、上級生、下級生のつながりを強化するためのプラットフォームを構築していくことも目的も達成できたといえる。